



病気をもつ子どもが 大人になるための 移行支援について ～必要なこと、準備すること～

埼玉県立大学 櫻井育穂

自己紹介

大学卒業～8年ほど 大学病院の小児科の看護師
大学院～ 地域・在宅の看護師&
研究のアシスタント

2000年から、10代の病気をもつ子どもと家族への
看護・支援を勉強しています。

2009年から、成人への移行を支援するための活動を
始めています。



2013年～ 大学の教員

お話の内容

1. 皆さんに考えてほしいこと
2. 移行はどうして必要か
3. 大人の医療への移行とは
4. そのために今から準備すること





来年、3年後、5年後について 考えたことがありますか？

やってみたいことは何ですか？
どのような大人になりたいですか？
ご家族で将来について話していますか？

病気があっても色々な事に挑戦している先輩が
たくさんいます。
将来どこで、何をしているでしょう？

来年、3年後、5年後に 経験するかもしれない事

- ・ 進学（進級）して新しい環境になる
- ・ 県外の学校や職場に通う
- ・ 新しい友達ができる
- ・ 新たな部活を行う
- ・ 一人旅や、友達と旅行に行く
- ・ 一人暮らしをする
- ・ 好きな人ができる



・・・もっと色々なことがあり、
人によってさまざまです

その時も 子ども病院に通うのでしょうか？

今の先生に診てもらいたいけど、
遠くの学校に進学したり、就職したらどうなる？

一人暮らしをするかもしれない、
親がいなくても自分で健康管理できるかな？

大人になっても具合が悪くなったら、子ども病院に
入院するのかな？

急に具合が悪くなったら、どこの病院に受診すればよ
いのかな？

子ども病院ではできないこと

小児科の先生は大人の患者の専門家ではない

子どもをつくる・産む時の医療、成人病（大人の病気）の治療は子ども病院ではできない

来年、3年後、5年後になって、
赤ちゃんや小学生のいる病棟に入院するのは
ちょっと居心地が悪いかもしれない

大人になっても安心して
自分に合った医療を受け
るために

移行が必要です

- ・ 移行＝移りかわっていくこと
- ・ みんなが成長するのと同じように、
健康管理も、
親から本人へ
医療者のかかわりも、
～ちゃん（子ども対応）から～さん（大人対応）へ
医療の場も
小児科から大人の医療（病院・診療科）へ



大人になったとき、
個々に持っている力を最大限に出して、
自分らしい生活が送れることを支援します。

移行支援

大人の医療への移行とは （転院を含む）

選択肢は
1つではありません

皆さんやご家族と医療者が相談し、
皆さんやご家族にあった形や方法を考えていく
ことが大切です。

安全に病気を管理するために必要な医療の形は？
将来の夢や生活にあった方法は？



移行期医療とは、
子どもから大人の医療に計画的に、スムーズに、
移れるようにする医療のしくみです。

医療のかたちとは



大人の医療（病院）はどんなところ？

- ・ 新しい医師や看護師との出会いです
- ・ 1体1（患者対医師）で、皆さんに向けて話をします。
- ・ 自分自身で説明します。

はじめまして！
よろしくお願ひします。

えっと～

はじめまして！
病気のことは小児科の先生から聞いていますが、
もう一度教えてください。
何か、生活で困っていることはありますか？
今の生活は・・・

今日はどうされましたか？

大人の医療（病院）はどんなところ？



そのために、
一緒に準備することが
大切です

お子様が

大人になるまでに準備すること

まずは、自分の**身体健康**についてよく知る

- ✓ 自分の病気（病名・病気の状態・症状）
- ✓ 治療（これまで～現在）
- ✓ 処方されている薬の名前・飲み方（内服）・効果と副作用
- ✓ からだの状態を示す検査値
- ✓ 日常生活で気をつけること・守ること、アレルギー
- ✓ 病院に行く必要がある症状
- ✓ 体調が悪い時に必要な対応



一緒に勉強しよう

ひとりで診察室に入り、先生と話す

- ✓ 一人で診察室にはいる
- ✓ 先生に自分の状態を話したり、質問に答える
- ✓ こんなことがしたい、と今できない事をできるようにお願いしてみる
- ✓ 心配なことを話す

先生に相談してみよう

親には相談しにくいこともあるな・・・

どんな相談があったのかは、お子様と相談し、ご家族にお話するか決めていきます



自分でできることは、自分でやってみる

- ✓ 残っている薬の数を確認して、先生に必要な数を頼んでみよう
- ✓ 家や学校で必要なケア（お薬を忘れず飲むなど）を、自分でやってみよう
- ✓ 困った時に手伝ってもらえるよう、周りの人（学校の先生、お友達、部活の先生など）に病気について話してみよう

困ったときは周りの人に手伝ってもらおう

自分のことを知ってほしい相手は誰かな？



移行の時期にある子どもが大人に望むこと



- いつまでも見守っている（く）という気持ち
- 何かあったとき、助けを求められる存在（居場所）

お子様が困った時に、助けを求められるようそばで見守っていきましょう。



大人の病院に行くにはどうしたらよいの？

まずは、主治医の先生に相談してください！

- 来年、3年後、5年後に向けて何を準備したらよいのか？
- いつまでこども病院に通うのか？
- 大人の病院に行っても大丈夫か？
- 遠い学校に進学するけど、どこにどんな病院があるのか？
- 医療費助成のしくみや入院体制の違いは何か？



移行期医療支援センターは、皆さん（お子様）にあった、大人の病院を探してお手伝いをします。

最後に

- 大人の医療に移行することは、大人になるための通過点です。大切なことは、大人になっても自分（お子様）に合った医療が安心して受けられることです。
- 大人になる時期はそれぞれです。あせらず、今からできることを準備していきましょう。
- お互いに「もう大丈夫」と安心できるようにお子様と相談していきましょう。

